

公表

事業所における自己評価総括表

放課後等デイサービス

○事業所名	ギフトド板野		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童一人ひとりの発達段階や特性に応じた個別支援計画を作成し、日々の支援に活かしている。	学習活動の時間を設け、児童の理解度や特性に応じた支援を行っている。	学習面と身体面の両面から児童の発達を支えるため、活動内容や支援方法の工夫を継続して行っていく。
2	学校や家庭との情報共有を行い、生活面だけでなく学習面の状況についても連携しながら支援を行っている。	身体を使った活動だけでなく、目の動きや手先の動きなど、学習に必要な基礎的な力を育てる活動を取り入れている。	職員間で児童の状況を児湯雄し、より適切な支援が行えるよう体制作りを進めていく。
3	学習支援や身体活動の両面から児童の発達を促すことを大切に、楽しみながら取り組める活動を取り入れている。	小集団活動を通して、友達との関わりやルール理解など社会性を育む活動を行っている。	学校や関係機関との連携を図り、児童の発達や生活を総合的に支援していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童一人ひとりの特性に応じた支援を行っているが、支援方法や関わり方について職員間でさらに共通理解を深めていく必要がある。	職員の経験や知識に差があり、支援方法の共有が十分でない場合がある。	児童の状況や支援内容について定期的に共有し、職員間で共通した支援が行えるよう取り組んでいく。
2	学習課題や身体を使った活動など様々な取り組みを行っているが、活動の振り返りや支援内容の整理をさらに充実させていく必要がある。	日々の支援や業務により、職員同士で振り返る時間の確保が難しいことがある。	支援内容について意見交換を行う機会を設け、学習面や身体面の両面からより良い支援に繋げていく。
3	身体活動や運動遊びを取り入れているが、目の動きや身体の使い方など、学習の基礎となる力への働きかけをさらに意識していく。	児童の発達段階や特性が様々であり、個別に応じた活動の工夫が必要となる。	楽しみながら取り組むことができる活動を工夫し、学習面と身体面の両方につながる支援の充実を図っていく。